



平成25年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年10月31日

上場会社名 ヒロセ電機株式会社 上場取引所 東
 コード番号 6806 URL http://www.hirose.co.jp/
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)石井 和徳
 問合せ先責任者 (役職名)執行役員管理本部副本部長 (氏名)福本 広志 (TEL)03(3491)5300
 四半期報告書提出予定日 平成24年11月7日 配当支払開始予定日 平成24年12月4日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第2四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	46,770	△4.9	10,959	△5.6	11,436	△7.0	6,803	△7.9
24年3月期第2四半期	49,182	3.5	11,612	△11.4	12,295	△8.3	7,386	△11.3

(注) 包括利益 25年3月期第2四半期 5,654百万円(34.2%) 24年3月期第2四半期 4,212百万円(△27.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第2四半期	196.60	—
24年3月期第2四半期	209.57	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第2四半期	266,476	243,253	90.1
24年3月期	261,486	239,601	90.5

(参考) 自己資本 25年3月期第2四半期 239,993百万円 24年3月期 236,602百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	75.00	—	55.00	130.00
25年3月期	—	70.00	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	70.00	140.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	95,000	0.2	20,000	2.3	21,000	0.4	13,000	1.4	375.68

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

25年3月期 2 Q	40,020,736株	24年3月期	40,020,736株
25年3月期 2 Q	5,416,788株	24年3月期	5,416,518株
25年3月期 2 Q	34,604,163株	24年3月期 2 Q	35,245,146株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

当社は、平成24年11月1日（木）に機関投資家及びアナリスト向けの四半期決算説明会を開催する予定です。この説明会で配布する決算説明資料については、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	7
四半期連結包括利益計算書	8
(3) 継続企業の前提に関する注記	9
(4) セグメント情報等	9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、一部に緩やかな回復の兆しが見られたものの欧州債務危機に端を発する中国経済の減速や長期化する円高の企業業績への影響等が重なり、依然として景気回復の動きが不透明な状況で推移いたしました。

このような状況下当社グループは、平成22年12月に連結子会社化したヒロセコリア株式会社との営業、開発、生産面での連携を一段と深めつつ当社グループのグローバル事業拡大を進めると共に、昨年12月より製品開発部門、生産技術部門、営業・マーケティング部門等を集約した横浜市都筑区の新社屋「横浜センター」を中心に、高度化する市場ニーズへの更なる迅速な対応を目指し、高付加価値新製品の開発・販売体制の強化を引き続き推進して参りました。

その結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は467億7千万円（前年同期比4.9%の減）、営業利益は109億5千9百万円（同5.6%の減）、経常利益は114億3千6百万円（同7.0%の減）、当期純利益は68億3百万円（同7.9%の減）となりました。

また、報告セグメントごとの業績を示しますと、次の通りであります。

[多極コネクタ]

当社の主力製品群であります多極コネクタは、丸形コネクタ、角形コネクタ、リボンケーブル用コネクタ、プリント基板用コネクタ、FPC(フレキシブル基板)用コネクタ、ナイロンコネクタ等多品種にわたります。

主として携帯電話・スマートフォン、デジタル情報家電、パーソナルコンピュータ、通信機器、カーエレクトロニクス等の分野から計測・制御機器、FA機器及び医療機器などの産業用機器等の分野まで幅広く使用されているコネクタであり、今後の更なる高度情報通信ネットワーク化社会及び環境を考慮した省エネ化社会の進展とともに需要の拡大が見込まれております。

当第2四半期連結累計期間は、概ね自動車市場向け及びヒロセコリア株式会社の受注・売上は好調に推移したものの一部携帯電話・スマートフォン向けの低迷や産機市場向けの停滞の影響もあり、売上高は374億6千1百万円（前年同期比5.8%の減）、営業利益は90億7千9百万円（前年同期比5.5%の減）となりました。

[同軸コネクタ]

同軸コネクタは、マイクロ波のような高周波信号を接続する特殊な高性能コネクタであり、主にマイクロ波通信機、衛星通信装置、電子計測器、または携帯電話・スマートフォン及び伝送・交換装置等に使用されるコネクタであります。なお、光コネクタ、同軸スイッチもこの中に含んでおります。

当第2四半期連結累計期間は、売上高は67億8千5百万円（前年同期比7.7%の減）、営業利益は17億1千万円（前年同期比10.8%の減）となりました。

[その他]

以上のコネクタ製品以外の製品として干渉波EMS等の電子医療機器、マイクロスイッチ類及びコネクタ用治工具類を一括しております。

当第2四半期連結累計期間は、売上高は25億2千3百万円（前年同期比22.8%の増）、営業利益は1億6千9百万円（前年同期比93.6%の増）となりました。

なお、当社グループは、管理単位の変更に基づき、前第3四半期連結会計期間より、従来「その他」の区分に属していました方向性結合器、固定減衰器及び同軸スイッチ等の高周波デバイス製品を「同軸コネクタ」セグメントとしております。

それに伴い、前第2四半期連結累計期間についても、変更後の区分方法により作成しております。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期連結会計期間の総資産は、現金及び預金の増加などにより、前連結会計年度に比べ49億9千万円増加して2,664億7千6百万円となりました。負債は未払法人税等の増加などにより、13億3千8百万円増加して232億2千2百万円となりました。また、純資産は、利益剰余金の増加などにより36億5千1百万円増加して2,432億5千3百万円となりました。この結果、自己資本比率は90.1%となり、前連結会計年度末と比べ0.4%低下しました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

一部海外携帯電話・スマートフォンメーカーのビジネスの停滞、産業機器市場向けの受注低迷及び国内自動車メーカーの減産の影響等を総合的に検討致しました結果、平成24年5月8日に公表致しました通期連結業績予想の修正を行っております。

なお、通期連結業績予想の前提となる第3四半期以降の為替レートは1 U S \$ = 78円、1 ユーロ = 100円を想定しております。

具体的な内容につきましては、本日（平成24年10月31日）公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(税金費用の計算)

税金費用については、当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区分することが困難な会計方針の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、当第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

なお、これによる当第2四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	107,703	114,107
受取手形及び売掛金	23,344	23,794
有価証券	27,735	28,790
商品及び製品	3,799	3,501
仕掛品	2,378	2,401
原材料及び貯蔵品	1,009	1,104
未収入金	3,203	2,238
その他	2,940	2,939
貸倒引当金	△50	△54
流動資産合計	172,064	178,824
固定資産		
有形固定資産	26,448	26,511
無形固定資産	1,511	1,270
投資その他の資産		
投資有価証券	59,014	56,154
前払年金費用	337	320
その他	2,195	3,480
貸倒引当金	△85	△85
投資その他の資産合計	61,461	59,870
固定資産合計	89,421	87,651
資産合計	261,486	266,476

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	10,415	10,986
未払法人税等	3,205	3,842
賞与引当金	1,461	1,610
役員賞与引当金	122	120
その他	4,027	3,813
流動負債合計	19,231	20,374
固定負債		
退職給付引当金	170	258
その他	2,481	2,589
固定負債合計	2,652	2,848
負債合計	21,884	23,222
純資産の部		
株主資本		
資本金	9,404	9,404
資本剰余金	14,371	14,371
利益剰余金	269,620	274,520
自己株式	△54,692	△54,694
株主資本合計	238,704	243,602
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,394	2,592
為替換算調整勘定	△4,496	△6,200
その他の包括利益累計額合計	△2,101	△3,608
新株予約権	63	58
少数株主持分	2,936	3,201
純資産合計	239,601	243,253
負債純資産合計	261,486	266,476

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
売上高	49,182	46,770
売上原価	28,217	26,448
売上総利益	20,964	20,322
販売費及び一般管理費	9,352	9,362
営業利益	11,612	10,959
営業外収益		
受取利息	431	358
受取配当金	63	64
その他	257	280
営業外収益合計	751	704
営業外費用		
為替差損	50	164
その他	17	63
営業外費用合計	67	227
経常利益	12,295	11,436
特別利益		
補助金収入	—	138
受取和解金	21	—
特別利益合計	21	138
特別損失		
固定資産除却損	102	118
投資有価証券評価損	—	81
特別損失合計	102	200
税金等調整前四半期純利益	12,214	11,374
法人税等	4,584	4,104
少数株主損益調整前四半期純利益	7,629	7,270
少数株主利益	242	467
四半期純利益	7,386	6,803

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	7,629	7,270
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△9	197
為替換算調整勘定	△3,407	△1,813
その他の包括利益合計	△3,416	△1,615
四半期包括利益	4,212	5,654
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	4,355	5,296
少数株主に係る四半期包括利益	△143	358

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

【セグメント情報等】

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注)	四半期連結 損益計算書 計上額
	多極コネクタ	同軸コネクタ	計		
売上高					
外部顧客への売上高	39,773	7,352	47,126	2,055	49,182
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	39,773	7,352	47,126	2,055	49,182
セグメント利益(営業利益)	9,607	1,917	11,524	87	11,612

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、干渉波EMS等の電子医療機器、マイクロスイッチ類及びコネクタ用治工具類等を一括しております。

2. 地域に関する情報

	日本	海外売上高					連結売上高
		北米	アジア	ヨーロッパ	その他の地域	合計	
I 売上高(百万円)	18,923	2,423	24,342	3,049	443	30,259	49,182
II 連結売上高 に占める割合(%)	38.5	4.9	49.5	6.2	0.9	61.5	100.0

(注) 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

II 当第2四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注)	四半期連結 損益計算書 計上額
	多極コネクタ	同軸コネクタ	計		
売上高					
外部顧客への売上高	37,461	6,785	44,247	2,523	46,770
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	37,461	6,785	44,247	2,523	46,770
セグメント利益(営業利益)	9,079	1,710	10,789	169	10,959

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、干渉波EMS等の電子医療機器、マイクロスイッチ類及びコネクタ用治工具類等を一括しております。

2. 地域に関する情報

	日本	海外売上高					連結売上高
		北米	アジア	ヨーロッパ	その他の地域	合計	
I 売上高(百万円)	17,763	1,778	24,371	2,340	517	29,007	46,770
II 連結売上高 に占める割合(%)	38.0	3.8	52.1	5.0	1.1	62.0	100.0

(注) 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。